

# ぬまた 市議会だより

第66号

6月定例会

令和4年  
8月1日



令和4年6月7日(火) 開会前

ヌマタ・アート・アンバサダー  
篠笛・能管奏者 富澤 優夏氏

お披露目演奏

# 6月定例会

6月7日から17日までの11日間、令和3年度補正予算、条例の制定、条例の改正、令和4年度補正予算、副市長、人権擁護委員の選任同意など計18件を審議しました。

また、10人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

## 勤労者会館から勤労者団体シェアスペース

勤労者の福祉の増進に資するため、市内勤労者団体の活動の場として、テラス沼田6階に沼田市勤労者団体シェアスペースを設置します。

今まで勤労者団体に利用されていた沼田市勤労者会館は6月30日、廃止されます。

**質疑(要旨)**  
**Q**テラス沼田のどこに設置されるのか。

**A**6階の県が使用しているスペースが空く予定なのでそちらを活用する。

**Q**利用団体の独占か他団体との併用になるのか。

**A**独占の予定はない。許可した時間をシェアして利用してもらう。

**Q**料金は妥当か。

**A**勤労者会館との比較した結果、この金額とした。

## 令和4年度補正予算

新型コロナウイルス感染症関連事業や、特別な理由により緊急に対応する必要があるものなどに限定し、歳入歳出それぞれ6億9,078万円を追加します。

利根支所庁舎管理費における実施設計委託料及び解体撤去工事費の追加、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の追加、子宮頸がんワクチン接種委託料の追加、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の追加、園芸振興事業における野菜王国ぐんま総合対策事業補助金の追加、電子地域通貨事業における業務委託料の追加、周遊バスツアー誘致業務委託料の追加、道路維持事業修繕料の追加、学校

の新型コロナウイルス感染症対策事業における備品購入費の追加などです。

**質疑(要旨)**

歳出予算

○支所等管理事業

**Q**利根支所解体の工期は。

**A**補正予算議決後に発注、令和5年3月に完了予定。

○商業振興事業

**Q**てんぐー、2億7,957万円と歳入の差額の理由は。

**A**マイナポイント、基金からの繰入金などを合計すると歳出と同額になる。

○観光宣伝事業

**Q**周遊バスツアー誘致業務委託料は前回と同じものか。

**A**内容も当初と同様。

○観光宣伝事業

○新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金

**Q**5月の実施計画提出分は。

**A**5月は計画未提出。7月の計画提出予定分になる。

○新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金

## 常任委員会

### 経済建設常任委員会でシェアスペース条例を審査

6月16日、全委員出席の下、常任委員会を開催し、「沼田市勤労者団体シェアスペース条例」について全会一致で「可決すべきもの」と決しました。

審査の過程では、「名称に勤労者団体とあり、シェアスペースとしてほかの団体が使いづらくなるのでは」といった意見や「勤労者団体とほかの団体で、施設予約の際に金額以外の差をつけてもよいのではないか」という意見がありました。が、「市内勤労者団体の活動のために大いに役に立つ」といった意見や「利用団体の拡大に向けて、積極的に周知・広報の施策を進めていただきたい」といった意見もあり、勤労者の福祉向上に必要な施策となることを期待し、全会一致で「可決すべきもの」と決しました。

### 人事案件

・副市長(同意)

川田 正樹氏

・人権擁護委員委員(推薦)

金子 直人氏

新議員紹介

4月24日に行われた、沼田市議会議員補欠選挙で3名の新議員が誕生しました。

新議員3名を紹介します。



藤井美和子議員  
民生福祉常任委員  
(無党派)

弱者が住みやすい行政を目指し、教育と福祉の充実に努めてまいります。



青木一郎議員  
総務文教常任委員  
(無党派)

持前の好奇心と開拓者精神で沼田市活性化、移住促進のために尽力いたします。



小野塚正樹議員  
総務文教常任委員  
(無党派)

沼田市の未来をより良くするために精一杯努力していきます所存です。

星野市政「始動」 新3役市政への意気込み



星野稔市長  
私の市政に対する基本理念は「市民が主役・対話の市政」により『持続可能な沼田市』を目指すものです。

昭和と平成の合併により誕生した現在の沼田市は、沼田・利南・池田・薄根・川田・白沢・利根の各地区が、それぞれ豊かな自然環境と伝統文化に恵まれており、大きな魅力と可能性を持っています。一方で各地区様々な課題を抱えているのが現状です。

それらの課題に真摯に向き合い、次世代のため、市の未来のため、市民誰もが幸せと思える沼田市を目指し、市民としっかりと心のキャッチボールをしながら、責任ある政策を推進してまいりたいと考えております。

浅学非才ではありますが、与えられた職責を議会と一体となつて、粉骨砕身、持てる力のすべてを傾注してまいりますので、市民の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



川田正樹副市長  
職責の重さに改めて身の引き締まる思いです。

今まで培ってきた地域の皆さまとのつながりと市職員としての行政経験を生かし、星野市長を補佐する所存です。市議会の皆さまと協力し、職員一丸となり、沼田市の発展のために専心努力してまいりますので、市民の皆さまのご指導、お力添えをお願い申し上げます。



竹之内篤教育長  
「将来の沼田市を担う人材を育成すること」、「市民の皆様が生きがい・やりがいにつながる活動を創出すること」、「歴史や文化を守り活かしていくこと」は、教育委員会に課せられた使命だと思っております。そのため、「創造」「協働」「意思疎通」を基本姿勢とし、市長部局や市議会と一丸となり、本市の教育行政のさらなる充実・発展に尽力していく所存です。

（この部分のテキストは上記のCaptionに重複するため省略）

会 派 名	人数	交付額	支出額	戻入額
日本共産党沼田市議団	2人	240,000円	240,000円	0円
沼田創生会 ※2/1まで7人	6人	820,000円	495,555円	324,445円
新政同志会 ※6/25まで7人	6人	740,000円	140,000円	600,000円
星野妙子 (会派外議員)	1人	未申請		
金子浩隆 (会派外議員)	1人	120,000円	120,000円	0円
高柳勝巳 (会派外議員)	1人	未申請		
井上 弘 (会派外議員)	1人	120,000円	56,505円	63,495円
島田康弘 (会派外議員※6/25～)	1人	未申請		

令和3年度  
政務活動費収支報告  
(令和3年4月1日～  
令和4年3月31日)



※ホームページで会派別に支出明細、領収書写、視察報告等を公開しています。

# 市政を問う！

## 一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを問うのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

金子 浩隆	人口減少対策、沼田の「未来予想図」を描く
茂木 清七	本市の少子化と小中学校統合問題
中村 浩二	新市長が掲げた政策提案関係の推進
永井 敏博	10年後の沼田市のための取組
三ツ石岩男	沼田市の人口減少対策
大東 宣之	市政運営、新型コロナウイルス感染症対策、学校給食
高柳 勝巳	ノーサイド宣言 ホテルルートインへの対応
桑原 敏彦	風の谷構想による沼田市の未来
井上 弘	子育て支援、子どもたちの未来を応援
井之川博幸	高齢者施策の拡充を

**スマホから議会を見よう！**  
**議会インターネット中継**  
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継  
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

### 人口減少対策、沼田の「未来予想図」を描く

金子 浩隆



◎人口減少対策として、横塚工場適地への企業誘致、工場立地をどう進めるか伺います。

▲横塚工場適地の県新規産業団地造成候補地選定は今年の8月頃になる見込みです。候補地に選定されると、県が事業化に向けた検討を行い、知事同意による事業化決定後、産業団地の整備に着手となります。

◎除却された中央公民館の機能を移転し、代替施設として活用するための保健福祉センター改修工事をどう進めるか伺います。

▲耐用年数を超えたエレベーターを更新し、1階のディスプレイセンターを遮音壁による防音効果を高めた大会議室に、3階の第二福祉作業所を会議室と和室に改修するほか、会議室や授乳室等を整備します。

この改修により、保健福祉の拠点としての機能の充実を図ることはもとより、中央公民館除却に伴う代替施設の一つとして、施設の多目的利用を促進します。



丸の内ストリートパーク

◎10階建てのホテルの前から中心市街地の中町・本町通りまでを、街路樹が綺麗なシャンゼリゼ通りに。

▲中央公民館跡地をどのように活用していくか伺います。

▲中央公民館跡地を活用することで、中心市街地土地区画整理事業と併せ、旧市役所通りと本町通りを含めたエリアの価値を高めていきたいと考えています。

◎三峰山の「盛り土」。

◎県の産業廃棄物検査の結果、市のその後の対応を伺います。

▲本年4月に県と市が立会いのもと、事業者による土壌検査のための土砂採取が行われました。分析結果は事業者の結果通知が届き次第、県に提出されることになっています。

# 市政を問う!!

## 本市の少子化と小中学校統合問題

茂木 清七



**Q**地熱発電は365日24時間安定した発電を行えると考えますが、今後の自然エネルギーの活用として、地熱発電は考えているのか伺います。

**A**温泉を活かした地熱発電は、現在の技術では発電は困難と言われていますが、自然エネルギーの活用は、引き続き情報収集に努めたいと考えています。

**Q**野生動物の捕獲状況と今後の取り組みについて伺います。

**A**市鳥獣被害対策実施隊による捕獲のほか、獣害防止柵設置への支援等により有害鳥獣被害の減少に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

**Q**農業後継者支援について伺います。

**A**新規就農者育成総合対策における経営発展支援事業は親元就農でも利用可能な補助事業です。また、農業委員会で「ぬまた農縁」の活動も始めています。

**Q**市長選では、学校給食費の無償化に取り組むと言ってきました



ぬまた農縁

たが、給食費の無償化について伺います。

**A**給食費無償化の財源は一般財源により実施することとなりますので、歳入の見込みや優先主要業務事業、他事業の歳出を勘案し、予算総体のバランスを考慮しながら、検討を進めたいと考えています。

**Q**生きることの支援、自殺防止に向けた取組について伺います。

**A**自殺予防やこころの健康に関する啓発パンフレット配布、職員全員を対象としたゲートキーパー養成研修を実施しています。「沼田市自殺対策推進計画」に基づき関係機関と連携して自殺防止対策を推進していきます。

## 新市長が掲げた政策提案関係の推進

中村 浩二



**Q**市民や地区等からの陳情・意見・要望等に対する対応について伺います。

**A**いただいた陳情・要望等は、所管課において緊急性の有無や早期に対応が可能なもの、予算措置が必要なものなどを考慮しながら、優先順位を定めて対応しています。

**Q**利根町は過疎地域に指定されている区域なので、現在の利根町の課題等について、過疎債を充当し、活性化を図るべきと考えますが、利根町の過疎債充当事業の推進を今後どのように実施していくのか伺います。

**A**旧利根村区域が過疎地域として指定され、沼田市過疎地域持続的発展計画を策定し、過疎対策事業債を利根町区域内の各種事業に充当しています。今後、本計画に基づき過疎対策事業債を活用しながら地域の持続的発展に取り組んでいきたいと考えています。

**Q**給食費の無料化等は子育て世

代の負担を軽減させ生活の安定を図る重要な施策と考えますが教育長は給食費の無料化に向けて今後どのような施策の展開を図るのか伺います。

**A**給食費の無料化は、子どもの教育が将来の沼田をつくるという共通認識のもと、

市長部局と同一歩調で、検討していきたいと考えています。

**Q**青少年の健全育成の推進について教育長に伺います。

**A**重点施策として、心豊かたぐましい青少年の健全育成、青少年非行防止対策を掲げ、青少年育成団体等の育成及び支援、指導者の養成、青少年相談活動の充実などにより、次の世代を担う青少年の健全育成に取り組んでいきます。



沼田市学校給食センター

# 一般質問

## 10年後の沼田市のための取組

永井 敏博



**Q** サラダパークぬまたの有効利用について伺います。

**A** 民間提案制度による検討をしましたが、提案者と合意に至りませんでした。民営化による有効活用に向けて、広く検討していきたいと考えています。

**Q** 利根支所の整備構想について伺います。

**A** 老朽化に伴い支所機能を若者定住センターに移転しました。旧庁舎の解体、新庁舎建設の検討と合わせて、地域住民の利便性向上に向けて検討していきたいと考えています。

**Q** 旧池田幼稚園の活用をどのように考えているか伺います。

**A** 旧久米邸洋館保存整備移築工事に伴う建築部材を保管しています。その後の活用は、施設の状態を確認した上で検討していきたいと考えています。

**Q** 観光農業の拡充に向けた農業振興、活性化について伺います。

**A** 酒類の地理的表示であるG-I利根沼田や果樹栽培などを誘客

素材として、森林文化都市が育んだ観光資源をさらに魅力のあるものとするよう活性化を進めていきたいと考えています。

**Q** 再生可能エネルギー推進のための森林(自然)資源の活用について伺います。

**A** 製材に向かない木材はバイオマス燃料として利用されており、家庭用の木質ペレットや薪での活用も期待されています。先進事例を参考に、調査・研究していきたいと考えています。

**Q** 横塚工場適地の企業誘致について伺います。

**A** 本年度の群馬県新規産業団地造成候補地の選定を目指しています。産業団地の整備に向けて準備を進め、地域経済の振興が図られるよう努めていききたいと考えています。



サラダパークぬまた

## 沼田市の人口減少対策

三ツ石 岩男



**Q** 生産年齢人口減少に伴い市税の減収が見込まれるが、ふるさと納税などの自主財源確保に向けた対策について伺います。

**A** 令和3年度には、初めて寄附額が1億円を超え、ようやく軌道に乗ってきたものと認識しています。今後は、返礼品の見直しなど、ふるさと納税の充実を図ってきたいと考えています。

**Q** 移住、定住の促進について伺います。

**A** 感染症の状況等に注視し、移住者や関係人口の獲得に注力していきたいと考えています。

**Q** 今後の少子化対策について伺います。

**A** 「第2期沼田まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、出産・子育てへの支援を重点に掲げ、引き続き、職場における出産・子育て環境の整備、教育環境の充実など、妊娠、出産、子育てへの切れの目のない支援を中心とし、総合的な施策に取り組んでいくことで、出生

数を増やし、人口減少の抑制を図っていききたいと考えています。

**Q** 児童数減少に伴う小中学校統廃合について教育長に伺います。

**A** 市内小中学校の児童生徒数については、毎年、その推移を注視しており、令和10年度には、令和4年度に対し、約22パーセント減少すると推計されます。

市内小中学校の統廃合は、大きな課題の一つとして捉えており、児童生徒数の推移や学級数の推移だけでなく、各学校の教育の質が確保されることはもとより、地域の皆さまの思いや考えなどを十分考慮しながら、慎重に研究を進めていきたいと考えています。



# 市政を問う!!

## 市政運営、新型コロナウイルス感染症対策、学校給食

大東 宣之



**Q**どのような考え、姿勢で市政運営を進めるのか伺います。

**A**市民との対話を大切にし、協議や検討の過程を重視しながら、市民生活にとって本当に必要なとされることから優先的に行っていきたいと考えています。

**Q**市民への情報公開と政策形成過程等における市民意見の反映についてどのように進めるのか伺います。

**A**市民が市政に主体的に関われるよう、広報めまたや沼田工場放送、また、SNS等を積極的に活用し、市民との情報共有に努め、直接意見を伺える機会を可能な限り設け、政策に反映していきたいと考えています。

**Q**マスクの着用や多人数での飲食、イベント開催などについてどのように検討し対応するのかわかりますか。

**A**マスクの着用や飲食、イベントの開催などについては、国や県の方針等に基づき、対応していきたいと考えています。

**Q**飲食業、観光業、農業など市内事業者への支援をどのように進めるのか伺います。

**A**感染拡大状況を注視しつつ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金も継続活用しながら、市内事業者への支援策について検討していきたいと考えています。

**Q**給食費無料化についての検討と取組をどのように進めるのか教育長に伺います。

**A**教育委員会としては、児童・生徒の学校における生活環境及び学習環境の整備を優先課題と捉え、これらの進捗に努めながら市長部局と同一歩調で、検討していきたいと考えています。



## ノーサイド宣言 ホテルルートインへの対応

高柳 勝巳



**Q**5月10日に初登庁した市長は「溝を残し、報復合戦をしていては地域の未来はない」と語ったと報道されています。報道のとおりであれば、ラクビーの試合同様、本議会で「ノーサイド宣言」をして欲しいと考えます。

今後は、方法は異なっても同じゴールを目指す者同士、切磋琢磨していくスタートとして、本議会で市長の今後の基本的な想いをお聞かせください。

**A**「ノーサイド宣言」と言えるかどうか分かりませんが、沼田市が同じゴールを目指し、同じ方向を向き、沼田市が抱える各課題に対し、一つになって対応していく必要があると考えています。

**Q**ホテルルートインへの対応について、すでに着工となっている現在、慎重な姿勢のままでは行政もまちづくりも立ち行かません。ここは「君子は豹変す」のことわざどおり、市長の決断力、判断力が試されるわけですが、今後どのようなスタンスで臨まれるのかお聞かせください。

**A**本市とルートインジャパン(株)の間での協定書に基づき、相互に協力し、沼田市役所跡地活用事業が円滑に進むよう努めるとともに、宿泊施設の建設、運営に関し、本市として必要な支援を行っていきます。

また、観光の拠点ができることによる市内消費の増加や、近隣飲食店の利用促進、地産地消雇用の創出など様々な効果が期待されますので、宿泊施設を核とした地域経済の活性化に、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。



ホテルルートイン沼田完成予想図

## 一般質問

## 風の谷構想による沼田市の未来

桑原 敏彦



【Q】風の谷プロジェクトは、日本で優秀な30人のメンバーで構成されています。プロジェクトメンバーと連携する本市の組織構成について伺います。

【A】風の谷構想の実現には、市民と風の谷プロジェクトメンバーとの主体的連携が必要であると考えています。

【Q】風の谷プロジェクトを広域的に広げていくため、利根沼田地域定住自立圏との連携について伺います。

【A】利根沼田生活圏が持続可能性を保持し続けるためには、風の谷構想の推進に限らず、利根沼田地域定住自立圏における連携が必要と考えています。

【Q】サラダパークめまた跡地や休園になった池田幼稚園を森林観光の活用拠点にする事が可能です。森林観光実現のための風の谷構想について伺います。

【A】風の谷構想は、観光地を目指す運動ではありませんが、森林観光に役立つ可能性があると考え

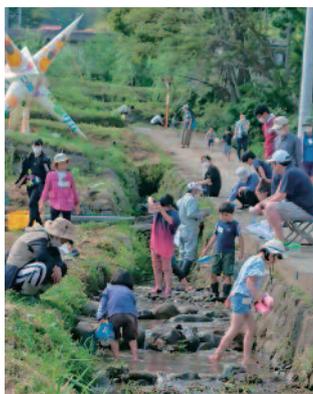
えています。

【Q】風の谷はインフラ・オフグリッドを推奨しています。過疎地域におけるインフラ・オフグリッド計画について伺います。

【A】自然災害に対する備えや持続可能で環境にやさしい生活実現のためのオフグリッドは理解でき、過疎地域は大きな可能性を持っていると考えています。

【Q】風の谷の方向性を見失わずに市の未来を考えていけば、地域の新たなコミュニティが生まれていくと考えています。風の谷から生まれる新たなコミュニティについて伺います。

【A】風の谷の運動を通じ、地域外とも繋がるコミュニティの形成も期待されます。



稲の観察会・川遊び体験会  
(石墨町)

## 子育て支援、子どもたちの未来を応援

井上 弘



【Q】安心安全な子育て支援を目指すため、児童館設置についてどう考えているのか伺います。

【A】小学生以上の子どもたちだけで、安心・安全に遊べる場所の確保も課題です。調査・研究を進めていきたいと考えています。

【Q】eラーニング、eスポーツを活用して子どもたちの未来を応援することについてどう考えているのか伺います。

【A】生まれ育った環境に左右されることなく、最新技術に触れ、意識し、将来にわたり活用していくよう、学習や体験の機会と環境を整備していくことは、非常に有意義だと考えています。

（原油価格・物価高騰等対策）

【Q】地方創生臨時交付金に「人口大禍における原油価格・物価高騰対応分」という新たな枠が盛り込まれましたが、住民の暮らしや事業者を守るためにどのように活用するのか伺います。

【A】庁内で支援策を検討している段階ですが、住民の暮らしや事業者を守ることを念頭に、できるだけ早期に、効果的な活用を図っていきたいと考えています。

（学校の学習環境）

【Q】学習指導要領改訂で学校での学びが大きく変わると認識していますが、小中学校での主体的・対話的で深い学びについてどのように考えているのか教育長に伺います。

【A】未来を作り出していくために必要な資質・能力を、身に付けさせていく上で、授業改善の重要なポイントになると認識しています。児童生徒の発達段階を考慮しながら、授業改善を推進していきたいと考えています。

# 市政を問う!!

## 高齢者施策の拡充を

井之川 博幸



**Q** 高齢者が安心して健康に暮らせる沼田市をつくるため、高齢者施策の拡充について、まず待機者が236人になっている特別養護老人ホームの増設について伺います。

**A** 地域のニーズを踏まえ、次期計画以降において、検討したいと考えています。

**Q** 補聴器購入費の助成について伺います。

**A** 県内では2つの自治体において、高齢者施策としての助成制度がありますので、今後、研究したいと考えています。

**Q** 新市長の公約に関連して、「教育・文化の拠点整備を推進する」ことについて、教育・文化の拠点についてどのように考えているのか伺います。

**A** 公設民設を問わず、多様な施設が、学びの場として機能することが望まれると考えています。

**Q** 市議会で採択された「沼田市中央公民館廃止・除去」に伴う新施設の建設を求める請願につ

いてどのようにとらえているのか伺います。

**A** 市民の貴重な要請であったと認識しています。市では「中央公民館建物に代わる新たな施設として、社会教育や生涯学習等などの多目的な文化活動の拠点」として、保健福祉センターやテラス沼田などの整備を進めています。

**Q** 遅れている3・3・1環状線の事業推進と国道120号線の付け替え計画について伺います。

**A** 事業の早期完了に向け、努力したいと考えています。国道120号の付け替えは、計画はありませんが、環状線の開通により、渋滞緩和、緊急時の迂回路としての効果があると期待しています。



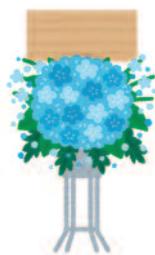
除却された中央公民館



代替施設保健福祉センター

### 議員の寄附禁止の対象例

落成式・開店祝や  
葬儀の花輪・供花など



お祭りなどの差し入れ、  
町内会への寸志など



お年賀・お中元・お歳暮  
入学・卒業祝いなど



議員本人が出席しないときの  
結婚祝や葬儀の香典など

**議員の寄附は禁止!** ご理解・ご協力をお願いします

議員が、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状など(答礼のための自筆によるものは除く)を出したりすることは法律により禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 寄附行為に該当する事例

- ・ 結婚祝、香典(本人が自ら出席してその場で行う場合以外)
- ・ 地域の運動会・スポーツ大会への飲食物の差し入れ
- ・ お祭りへの寄附・差し入れ
- ・ 町内の集会、旅行等の催物への寸志、飲食物の差し入れ
- ・ 落成式・開店祝等の花輪
- ・ 病気見舞い
- ・ お歳暮・お年賀
- ・ 入学祝、卒業祝
- ・ 葬儀の花輪・供花
- ・ 答礼のための自筆によるものを除いた、年賀状や見舞状などのあいさつ状(印刷物に署名をするだけでは、自筆とは認められません)

※政治家の後援団体(後援会など)が行う寄附も、禁止されています。

※政治家が役員・構成員である会社や団体が、政治家の名前を表示して行う寄附や、政治家の名前などを冠した会社・団体がその選挙に関して行う寄附も、禁止されています。

# 行政調査

## 報告

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査や管内調査を実施しています。今回は、総務文教常任委員会の概要を掲載します。

### 総務文教常任委員会

7月8日、総務文教常任委員会では、学校給食センターの調査を実施しました。

現在の市学校給食センターは、旧学校給食センター、調理場の老朽化等に伴い、令和2年8月から運用を開始。

市内の全小中学校及び沼田特別支援学校へ約3,500食の給食を提供しています。



職員から給食センターの説明

給食の栄養価は一か月を通して基準を満たせるよう計算されており、「主食、主菜、副菜、汁もの」がそろった献立になるよう工夫されています。

**学校給食センターの特徴**  
**温かい地元産のご飯**  
 玄米の状態で入荷したお米を精米して炊飯するまでを給食センターで行います。利根沼田産米を使用した、つきたて、炊きたての美味しいご飯を断熱食缶で温かいまま学校まで届けることができます。

**食物アレルギー等対応**  
 食物アレルギーや服薬による食品の制限、宗教上の禁食などがある皆さんも他の児童生徒と一緒に給食が楽しめるよう、アレルギー等に対応する給食の提供を行っています。

アレルギー対応専用の調理室で安全に対応食の調理ができるようになっています。



### 次回定例会の日程

次回定例会は、8月30日（火）からの予定です。インターネット中継も行っています。



### 編集後記

今年も本当に暑い夏となりましたね。プールや水遊びが楽しい子どもたちにとって待ちに待った季節です。保護者としては、子どもたちの元気な外遊びを応援しつつも熱中症や水の事故などに遭わないよう注意したいものですね。

私が子どものころは、「夏休みがずーっと続いてくれなにか」と思っていました。地域の子どもたちが公園や校庭、神社の境内などで行ったラジオ体操。子ども心に「なんで学校に行く日より早く起きなきゃいけないの？」朝6時半からはじまるラジオ放送に合わせて、寝ぼけ眼で体操をしていましたよ。今ではいい思い出です。

夏休みだからといって大きく変わった対策をするものはありませんが、防犯・安全について再確認の意味も込めて「夏休みの約束」を話し合ってみてはいかがでしょうか。

委員 三ツ石岩男

議会だより編集委員会  
委員長 井上 弘  
副委員長 山宮 敏夫

委員 高柳 勝巳 永井 敏博 戸部 博  
三ツ石岩男 大東 宣之